

2022 AOTS 遠隔研修 KROP06 実践の習慣化による企業イノベーション -5Sと凡事を起点とした組織変革-

主催：一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）
協力：AOTS 同窓会

背景

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修および専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

「実践の習慣化による企業イノベーション(KROP06)」は、経営者、経営幹部、上級管理者もしくは5S活動推進の責任者を対象とした遠隔研修であり、5Sの実践を通じて企業・組織の活性化について学びたいと考えている参加者に適したコースです。

概要

日本企業において業種、企業規模、時間を超えて大切にされてきた取り組みとして5S活動があります。今では世界の多くの企業で5Sの考え方や活動が広がっていますが、社内で5Sを導入し継続することは容易ではありません。継続が難しい理由は、5Sをコスト削減といった単一の目的達成のための手段としてのみ捉えているからです。一方、5Sを「凡事*」にとらえ、その徹底的な実践行動を通じて習慣化し組織に定着させることができれば、5Sを通じて目指すべき目的を時代、状況に応じて新たに生み出し達成することができます。

そこでこの研修では、こういった5Sの真の効果に着目し、なぜ5Sを実践・継続できる会社が強いのかについて理解を深めるとともに、企業経営の3つの精神（起業家精神、営利精神、市民精神）の観点から自社を見直し、5Sを通じて3つの精神で不足している部分を強化する方法を考えます。世界的に企業経営にとって危機的な状況下において、企業一丸となって乗り越えるための組織変革の手段として、5Sを実践する方法を学びます。

*「凡事（Bonji）」：だれでもできる簡単なこと。毎日誰かがやらなければならないこと。誰でもできるが故に軽視されがちで好まれない活動だが、このだれもができる「凡事」をだれもできないぐらいまで「徹底」させること、「凡事徹底」で組織が変わっていく契機となる。

ねらい

経営者、経営幹部、上級管理者もしくは5S活動推進の責任者等が、以下の目標を達成できるようにします。

- 1) 企業経営の3つの精神（起業家精神、営利精神、市民精神）を理解し、自社がどの精神が強く、また弱いかを理解する。
- 2) 5Sの歴史と5S活動の真の効果を理解する。
- 3) 5S実践企業の強みを理解する。
- 4) 5Sを実践する際の経営幹部・責任者としての心構えを理解する。
- 5) 5Sの実践計画を策定、実施することで、3つの経営精神のうち自社が課題をかかえている精神を強化することができる。
- 6) 5Sと「凡事徹底」の関係を理解し、自社にとっての凡事は何なのか考察し、「凡事徹底」を組織に習慣化させることができる。

日時

※参加者には、以下日程以外に研修開始前の自由時間を使って動画視聴(30分)による事前学習が課されます。

2022年9月 7日(水) 16:00-19:30(日本時間)

9月 8日(木) 16:00-19:30(日本時間)

9月 9日(金) 16:00-19:30(日本時間)

9月 22日(木) 16:00-19:30(日本時間)

*4日間全てのプログラムへのご参加が必要です。

*ご参加地域での研修開始時間については、【Table1】各国時差表(対象ゾーン)で確認するか、チラシに記載のAOTS同窓会にお問い合わせください。

参加対象国

全開発途上国

※具体的な対象国名は【Table 2】対象国リストをご参照ください。

参加定員

25名

参加対象者

参加対象国に在住の経営者、経営幹部、上級管理者もしくは5S活動推進の責任者等

[その他の参加要件]

*本研修の参加者は、本研修で定める業務内容や経験、職位以外に以下の基本要件を満たす必要があります。

a) 原則として研修実施国に居住及び勤務をしている方

(日本人はご参加いただけません)

b) 会社もしくは団体に所属する方

c) 参加時の年齢が20歳以上の方

d) 講師や他の参加者と積極的にディスカッションできる程度の高い英語力を有する方。

e) 軍に籍を置いていない方

f) 学生でない方

[注意]

※日系企業や現地資本企業以外からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が低くなります。

※本研修は、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関に所属する方は参加できません。

講義内容

1. 企業経営の3つの精神(起業家精神、営利精神、市民精神)を理解する。

※3つの経営精神を理解するため、研修参加前に動画を視聴による事前学習をしていただきます。

2. 5Sの歴史と5S活動の真の効果を理解する。

3. 日本と海外の5S取組事例を通して、5S実践企業の強みの理由を知る。

4. 5Sを実践する際の経営幹部・責任者としての心構えを理解する。

2022 AOTS 遠隔研修【KROP06】

実践の習慣化による企業イノベーション

5Sと凡事を起点とした組織変革

5. 5Sと「凡事徹底」の関係を理解し、自社にとっての凡事は何なのか考察する。

6. 経営幹部・責任者として5S・凡事徹底の実践計画を策定する。

策定のみならず、計画を実行し、その結果を研修最終日に報告し、今後の長期的かつ組織的な5S・凡事徹底の実践行動の習慣化につなげる。

◇ 全日程の2/3に参加した参加者には、コース終了後AOTSの修了証書(PDF)が授与されます。

講師



大森 信氏

大手前大学 現代社会学部 教授

2001年に神戸大学大学院経営学博士課程修了。博士(経営学)。
東京国際大学商学部助教授、日本大学経済学部教授などを経て現職。
大阪商工会議所「掃除でおもてなし研究会」座長も務める。

企業における掃除活動に注目するとともに、組織の活性化、新事業創造、プロジェクトマネジメントと掃除との関係性に注目した研究をしている。

著書に『掃除と経営—歴史と理論から「効用」を読み解く』(光文社、平成28年度「中小企業研究奨励賞」準賞)、『トイレ掃除の経営学』(白桃書房)、『そうじ資本主義』(日経BP社)、編著に『戦略は実践に従う』(同文館出版)、共著に『新経営戦略論』(学文社)などがある。

使用言語

講義は英語で行われます(日本語からの通訳)。

講義資料は英語で作成されます。

参加費

100USD

本セミナーは経済産業省の補助金により実施されます。

申込方法

- ◇ 申込書を添付し、締切日迄にチラシ記載のAOTS同窓会の担当者宛にメールでお申込みください。AOTS日本での応募締切日後、参加者選考が行われ、選定された参加者にはAOTS同窓会からメールでご連絡いたします。
- ◇ 期日までに参加費をAOTS同窓会にお支払いください。
- ◇ 研修当日までに参加費をお支払いいただけない場合、参加資格が取り消されますのでご注意ください。
- ◇ お住まいの国(地域)にAOTS同窓会がない場合は、最も近い地域の同窓会を通じてお申し込みください。
- ◇ なお、選考は参加対象者に書かれている要件に基づき、総合的に判断いたします。申込状況によっては、本コースにご参加頂けない可能性があることをご了承ください。
 - * 申込書はAOTS同窓会からお受け取り下さい。
 - * AOTS同窓会一覧につきましては下記をご参照ください。<https://www.aots.jp/en/alumni/about/>

申込締切日

2022年8月17日(水) (日本時間)

*締め切り後、お申込みの同窓会よりメールにて合否のご連絡を差し上げます。

使用ツール

Zoom ミーティング

- ◇ 参加者として選定された方には招待メールが送られます。招待メール内の指示に従い、研修へのご参加登録をお願いします。
- ◇ ご参加登録後、登録者には登録確認メールが届きます。メール本文に研修ご参加のためのリンクがありますので、当日はこのリンクをクリックして研修にご参加ください。
- ◇ ご招待メールが届かない場合は、ご応募の AOTS 同窓会迄ご連絡ください。
- ◇ ディスカッションや参加者からの発表を予定していますので、スマートフォンではなく PC からの参加を推奨します。またデバイスにはマイク、ウェブカメラ等を使用できるようにご準備ください。

注意事項

本研修にお申込みいただく場合、事前に下記の注意事項をご一読ください。研修へ申し込みいただいた時点で、下記注意事項の内容を承諾いただいたものとします。

- ◇ ディスカッションや参加者からの発表を予定していますので、ウェブカメラをオンにしての参加をお願いいたします。
- ◇ 研修参加のために付与されるミーティング情報（リンク、番号、パスワード）は自らの責任で保管ください。無断で参加者以外の方に譲渡しないでください。
- ◇ 本研修は、外部サービス「Zoom」を使用して実施します。参加者はコンピュータ、Web カメラ及びマイク等、本サービスの利用に必要な機器を準備し、また通信環境が本研修の参加に支障がないことを確認したうえで研修に参加してください。
- ◇ なお、研修を受けるために必要な機器および通信環境等は、参加者の費用と責任において準備し維持するものとします。
- ◇ ご提供いただいた個人情報は、参加者の同意に基づき、講師、通訳等の研修実施の関係者に提供することがあります。また、ご提供いただいた登録情報及びその他の情報・データ等を、AOTS の裁量で、研修の提供及び運用、研修内容の改良及び向上、他研修プログラムの広報およびアンケート等の目的のために利用し、又は個人を特定できない形での統計的な情報として公開することがあります。
- ◇ AOTS が実施するアンケート調査に対し協力を要請した場合、参加者はこれに同意するものとします。
- ◇ 配布資料を無断で複製、編集、改変、配布、転載、または講義内容を撮影、録音することは、固くお断りいたします。受講に当たっては違反行為を行わない旨、誓約をしていただきます。
- ◇ 不可避の事故（戦争、暴動、労働争議、地震、暴風雨、火災、洪水、疫病の蔓延等）やネットワーク・機器トラブル等により、研修の実施が困難になった場合、AOTS は研修を中断・中止できるものと、中断・中止した研修について AOTS は責任を負いません。

2022 AOTS 遠隔研修【KROP06】
実践の習慣化による企業イノベーション
5Sと凡事を起点とした組織変革

お問合せ

一般財団法人 海外産業人材育成協会
事業統括部 海外協力グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東 1-30-1

電話：03-3888-8256 Fax：03-3888-8242 E-mail: webinar-kaikyo@aots.jp

【Table 1】 各国時差表（対象ゾーン）

※AOTS 同窓会のある国のみを記載しています

国（地域）	日本との時差
モンゴル（ウランバートル）	－1時間
マレーシア	－1時間
フィリピン	－1時間
カンボジア	－2時間
インドネシア（ジャカルタ）	－2時間
タイ	－2時間
ベトナム	－2時間
ミャンマー	－2時間30分
バングラデシュ	－3時間
ネパール	－3時間15分
インド	－3時間30分
スリランカ	－3時間30分
パキスタン	－4時間
ジョージア	－5時間
イラン	－5時間30分（－4時間30分）
エチオピア	－6時間
ケニア	－6時間
タンザニア	－6時間
トルコ	－6時間
エジプト	－7時間
南アフリカ	－7時間
スーダン	－7時間
ザンビア	－7時間
カメルーン	－8時間
ナイジェリア	－8時間
北マケドニア	－8時間（－7時間）
ガーナ	－9時間
アルゼンチン	－12時間
ブラジル（サンパウロ・リオデジャネイロ）	－12時間（－11時間）
ボリビア	－13時間
パラグアイ	－13時間（－12時間）
ベネズエラ	－13時間
ペルー	－14時間
メキシコ（メキシコシティ・モンテレイ）	－15時間（－14時間）

【Table 2】 対象国リスト

参加者は以下の国に居住している必要があります。

アジア (24)	大洋州 (14)	中東 (9)	ヨーロッパ (10)
アフガニスタン	キリバス	アゼルバイジャン	アルバニア
イラン※1	サモア	アルメニア	ウクライナ
インド	ソロモン諸島	イエメン	北マケドニア
インドネシア	ツバル	イラク	コソボ
ウズベキスタン	トケラウ	ジョージア	セルビア
カザフスタン	トンガ	シリア	トルコ
カンボジア	ナウル	パレスチナ	ベラルーシ
キルギス	ニウエ	ヨルダン	ボスニア・ヘルツェゴ ビナ
スリランカ	バヌアツ	レバノン	モルドバ
タイ	パプアニューギニア		モンテネグロ
タジキスタン	フィジー		
トルクメニスタン	マーシャル諸島		
ネパール	ミクロネシア		
パキスタン	ワリス・フツナ		
バングラデシュ			
東ティモール			
フィリピン			
ブータン			
ベトナム			
マレーシア			
ミャンマー			
モルディブ			
モンゴル			
ラオス			

アフリカ (54)		中南米 (27)	
アルジェリア	セントヘレナ島	アルゼンチン	ドミニカ共和国
アンゴラ	ソマリア	エクアドル	ニカラグア
ウガンダ	タンザニア	エルサルバドル	ハイチ
エジプト	チャド	ガイアナ	パナマ
エスワティニ	中央アフリカ	キューバ	パラグアイ
エチオピア	チュニジア	グアテマラ	ブラジル
エリトリア	トーゴ	グレナダ	ベネズエラ
ガーナ	ナイジェリア	コスタリカ	ベリーズ
カーボヴェルデ	ナミビア	コロンビア	ペルー
ガボン	ニジェール	ジャマイカ	ボリビア
カメルーン	ブルキナファソ	スリナム	ホンジュラス
ガンビア	ブルンジ	セントビンセント及び グレナディーン諸島	メキシコ
ギニア	ベナン	セントルシア	モントセラト
ギニアビサウ	ボツワナ	ドミニカ	
ケニア	マダガスカル		
コートジボワール	マラウイ		
コモロ	マリ		
コンゴ共和国	南アフリカ		
コンゴ民主共和国	南スーダン		
サントメ・プリンシペ	モザンビーク		
ザンビア	モーリシャス		
シエラレオネ	モーリタニア		
ジブチ	モロッコ		
ジンバブエ	リビア		
スーダン	リベリア		
赤道ギニア	ルワンダ		
セネガル	レソト		

※ イランは南アジア AOTS 同窓会連合の一員として中東ではなくアジア地域に分類します。

お住いの国に AOTS 同窓会がない場合は、最も近い地域の同窓会を通じてお申し込みください。
 AOTS 同窓会一覧 <https://www.aots.jp/en/alumni/about/>